

平成 24年5月8日(火) 発行

# 道建協とうほく

No.48

発行 社団法人 日本道路建設業協会  
東北支部 広報委員会



船岡城趾公園・白石川堤 (2012年4月 三澤)

目次

☆行事報告	.....	2
☆対外活動	.....	5
☆幹事会・委員会活動	.....	6
☆随想	大西國雄 技術副委員長	.. 8
	清水俊介 広報委員長	.. 9
☆会員だより	株式会社佐藤渡辺 東北支店	.. 10

## I 行 事 報 告

### 被災3県の遺児・孤児育英基金に寄附

地域に、私たちの生活に大きな傷跡を残した東日本大震災1周年を前に、道建協東北支部では岩手、宮城、福島の三県の震災孤児・遺児の支援基金に対し、総額450万円の寄附をしました。

さる3月6日、7日の両日、早稲田支部長と地元会員6社の代表者が各県庁を訪れ、寄附に先立ち、目録を贈呈しました。

日本大震災で親を亡くした18歳未満の子供は、厚生労働省1月調査で、千六百人程。国の支援には里親制度がありますが、これとは別に被災三県が設けた基金は、広く民間から厚意を募り、震災で親を失った遺児や孤児が大学を卒業するなど自立するまで資金を援助するもので、県により年齢や支給額は異なるが、月額で1～6万円、また小中高校の卒業時にも一次金として5万～60万円を支給することになっている。



【3月6日 岩手県庁にて】

#### 【寄附の概要】



【3月6日 宮城県庁にて】

- 1) 寄附は岩手、宮城、福島県が設けた基金とし、金額は人数等を考慮し決定。
  - ・「いわての学び希望基金」  
150万円
  - ・「東日本大震災みやぎこども育英募金」  
200万円
  - ・「東日本大震災ふくしまこども寄附金」  
100万円
- 2) 目録贈呈には早稲田支部長ほか、各県地元会員が立会い、行なった。

3) 各県への贈呈日時、立会者は下記の通り。

◎岩手県： 3月6日 11時 復興局 総務課 飯塚主査

・(株)伊藤組・伊藤社長、三好建設(株)・三好社長

◎宮城県： 3月6日 15時 佐々木保健福祉部次長

・日建工業(株)一菅野社長、仙建工業(株)一伊深土木部長

◎福島県： 3月7日 15時 原 土木部長

・福島県南土建工業(株)一小野社長、堀江工業(株)一長谷川専務

今回の寄附は、3.11大震災以降、国交省を窓口に関わった被災地への支援資機材の調達に係わった会員の厚意と支部幹事会の総意によるもので、協会社会貢献活動としては、昨年12月の仙台市内の小中学校への「行事用テント」寄贈に続くものです。これからも道路建設業という業態を生かした形でのボランティアを検討しながら、地域の再生・復興に向けて、様々な分野で活動に取り組んでいきます。



【3月7日 福島県庁にて】

### 「東日本大震災みやぎこども育英募金」寄附について

社団法人 日本道路建設業協会

東北支部長 早稲田 高茂

当協会は終戦直後の昭和20年11月に、「日本の再建は道路から」を信条に設立され、「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」を基本理念に、60年以上にわたり我が国の道路整備推進の一翼を担って参りました。その間、協会及び会員企業は、最も基本的なインフラである道路整備に携わること使命感と誇りを持ち、良質な社会資本の提供、雇用の創出、防災活動支援など、地域づくりや国民生活の向上に貢献してきました。

大震災の後、道路が「命の道」として果たした役割が大きく評価され、防災や緊急支援などの観点からもその重要性・緊急性が高まってきました。

今回の震災に際しては協会として、また個々の会員企業として様々な復旧や支援への関わりがありましたが、これからも継続して地域の再生・復興に取り組んでいくことを会員の総意とし、今般寡少ではありますが、東日本大震災みやぎこども育英募金に寄附することとしました。

私達の社会はいつの世であれ、若い世代に未来を託して存続してきました。未来の担い手である子どもたちが、健やかで、活気に満ちた学校生活をおくり、希望をもって前進していける一助になれば幸いと存じます。

今後とも当協会活動及び道路整備事業の推進に一層のご理解ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。



## アスファルト混合物事前審査について

### 1) 23年度の審査・認定状況

当協会が審査機関として行った23年度の審査・認定状況は以下の通りです。

	認定年月	混合所数			認定混合物数		
		H23	H22	対比	H23	H22	対比
第58回	2011年7月1日	23	24	▲1	342	344	▲2
第59回	2011年10月1日	20	22	▲2	298	323	▲25
第60回	2012年1月1日	28	26	2	406	367	39
第61回	2012年4月1日	21	24	▲3	346	401	▲55
計		92	96	▲4	1392	1435	▲43

福島県内の原発事故の影響で、警戒区域に在る2混合所が不稼働中であるほか、設備更新等で申請が繰り延べになった混合所があり、数的には減少した。

### 2) 第2回立入調査部会の開催

日時 平成24年2月23日(木)

場所 仙台青葉カルチャーセンター

アスファルト混合物事前審査制度において、審査の公平かつ公正を担保するために立入調査・立入調査を行う立入調査部員の技術レベルの平準化(個人差の縮小)が重要であることから、今年度第2回目の技術研修会が開催され、部会員33名中、26人が出席しました。

- (1) 部会長あいさつ 早稲田 高茂支部長
- (2) 58~60回 審査委員会報告
- (2) 最近の調査結果
- (3) 講話「合材協会からの話題提供」  
日本アスファルト合材協会 浅田 隆氏
- (4) 意見交換
- (5) その他



## 舗装施工管理技術者資格試験について

24年度舗装施工管理技術者資格試験の受験申込が、2月24日締切られ、仙台会場及び全国の申込者数が下表の通り確定しました。試験日は6月24日(日)で、受験票は遅くとも6月上旬までに本人宛発送予定です。仙台会場は1級が仙台医療福祉専門学校(中央校舎本館)、2級が昨年同様、東北電子専門学校の予定です。

[ ( )内は前年比 ]

	1級		2級	
	H23	H24	H23	H24
仙台	805	728 (90%)	458	334 (73%)
全国	7092	6126 (86%)	3139	2766 (88%)

## Ⅱ 対 外 活 動 (H24/2/1～)

### 1) 東北地方整備局関係

#### ① E E 東北 実行委員会

日 時 平成24年2月24日(金)

場 所 宮城自治労会館

出席者 早稲田支部長、川内幹事長

議 題 1) E E 東北 ‘11 決算報告  
2) E E 東北 ‘12 : 展示会の概要、予算、出展者募集について

\* 同上 作業部会 2月8日 出席 事務局長

#### ② 建設資材対策東北地方連絡会

日 時 平成24年3月16日(金)

場 所 東北地方整備局

出席者 川内幹事長、事務局長

議 題 1) 建設資材の需要見通し等について (各発注機関)  
2) 建設資材の供給可能量・運搬車両等について (各資材業者団体)  
3) 建設資材に関する意見交換 (各発注機関、各団体)

日 時 平成24年4月20日(金)

場 所 東北地方整備局

出席者 畠山事務局長、吉元公共工事委員

議 題 1) 建設資材の需要見通し等について (各発注機関)  
2) 建設資材の供給可能量・運搬車両等について (各資材業者団体)  
3) 建設資材に関する意見交換 (各発注機関、各団体)

#### ③ 事業促進 P P P に関する説明会(東北地方整備局)

日 時 平成24年3月12日(月)

場 所 フォレスト仙台

出席者 会 員

・事業促進 P P P の業務概要について

#### ④ 社会保険未加入対策 説明会

日 時 平成24年3月12日(月)

場 所 ハーネル仙台

出席者 事務局長

議 事 本省 内田労働資材対策官より下記の説明があり、その後質疑応答。

- 1) 建設技能労働者を取り巻く現状と課題
- 2) 建設業における社会保険未加入問題への対策について

## 2) 東日本高速道路(株)東北支社関係

東北支社管内本復旧工事についての意見交換

日 時 平成24年2月14日(火)

場 所 東日本高速道路(株)東北支社

出席者 中村調査役ほか3名

浅田技術委員、藤永技術委員、永澤技術委員、事務局2名

協議事項 ①交通規制について

②縦断修正に伴う施工について

③施工計画・事前調査について

④切削廃材のストック、及び再生利用について

⑤放射能汚染に対する対応について

\*結果については、施工各社に通知済。

## Ⅲ 幹事会・委員会活動

(H24/2/1~)

### 1) 幹事会

【第7回】

日 時 : 平成24年3月21日(水)

出席者 : 早稲田支部長、川内幹事長、幹事10名

松谷、大塚、近藤、石井、上河、大西、菅野(代)、宮村(代)、皆川(代)、清水(代)、

議 事 : 1) 活動の概況(1/23 ~)

2) 全国事務局長会議報告

3) 23年度決算見込み

4) 24年度暫定予算について

5) 震災遺児・孤児基金への寄附について

6) アスファルト混合物事前審査制度 状況説明

7) 24年度本部表彰 推薦について

8) H23委員会活動概要、H24計画について

4月異動で転勤の大塚良孝幹事の後任として、佐藤敏彦氏を選任しました。

### 2) 技 術 委 員 会

日 時 : 平成24年2月6日(月)

出席者 : 川内委員長、委員14名(佐藤力、高橋省、稲辺、堂尻、

山本、清水、藤永、浅田、永澤、大山、鈴木、泉、本間)

議 事 : 1) 東日本大震災学術合同調査委員会への対応について

2) 今後の活動計画

### 3) 公共工事 委員会

日 時 : 平成24年2月20日(月)

出席者 : 松谷委員長、委員11名(佐藤力、山本、熊本、畑、

秋山、手塚、新田、網代、若狭、吉元、田澤)

議 事 : 1) 三陸復興道路・事業促進PPPの導入について

#### 4) 委員会幹事会

日 時 : 平成24年3月28日 (水)

出席者 : (広報) 伊藤、(技術) 稲辺、藤永、(公共) 若狭、大山、  
(安全) 秋山、永澤、(防災) 新田

議 事 : 1) 23年度の活動について  
2) 24年度委員会活動計画について

#### 一般社団法人への移行のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の活動に対しましてご支援ご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、本協会は公益法人改革に対応し、内閣府に一般社団法人への移行認可申請を行って参りましたが、この度、移行認可を受け、平成二四年四月一日を以て、一般社団法人日本道路建設業協会となりました。

今後とも、関係各位のなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

敬具

平成二十四年四月吉日

一般社団法人 日本道路建設業協会

#### 平成24年度 舗装施工管理技術者 技術講習会の案内

日 時・場所 盛岡会場 9月28日(金) 岩手県産業会館  
仙台会場 8月31日(金) 仙台国際センター、

受講料 8,000円

申込み期間 5月8日~6月15日

申込み方法、及び申込み書類の入手は、協会本部ホームページ「H24 技術講習のご案内」を参照願います。

## 随 想

### 『 楯 円 球 の 詩 』

技術副委員長 大西 國雄

( 前田道路株式会社 東北支店 )



一つの勝利を掴むために、どれだけの汗と涙を流しただろうか!?  
学生時代、明けても暮れても楯円球を追いかけて走った。  
耳がちぎれるまでスクラムを組んだ。  
優勝を夢見て勉強もせず只々ラグビーにのめり込んだ。  
現役を既に終えた今は、たまにグラウンドに行って後輩の指導をする程度だ。昨今生涯スポーツの重要性が叫ばれる中、「不惑クラブ」に誘われてランニングを始めた。

人生も折り返し後半戦にさしかかったが、ラグビーで出来た仲間は生涯の友であり、ラグビーで培った精神は生涯忘れない。

『ノーサイド』

『ワン・フォー・オール オール・フォー・ワン』

道建協活動に携わって東日本大震災の支援活動をしている時、これと同じ感覚を感じた。道路建設業の仲間が皆分け隔て無く、一人は皆のために、皆は一人のためにその責任を果たす。正にこのラグビー精神そのものだと感じた。

『企業人である前にまず社会人たれ!!』を肝に銘じて活動に参加させていただきます。







## 『 復 興 元 年 』

広 報 委 員 長 清 水 俊 介

( 世 紀 東 急 工 業 株 式 会 社 東 北 支 店 )

私の故郷は東日本大震災の被災時に、道建協からも大変お世話になりました三陸岩手県久慈市です。実家は内陸部にあるので津波の被害はありませんでしたが、海岸沿いの親戚では津波で家を流され泳いで逃げた人や、また家の大半が水に浸かった家もあり大きな被害を受けてしまいました。あらためて東日本大震災にて亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私は入社以来、九州支店、沖縄営業所、京都事務所、名古屋支店と各地を回ってきました。この災害ではここで出会った多くの方々の温かい励ましや応援を頂きました。思い起こせば、まだ被災間もない時 自家用車で停電中の我が家へ応援物資を届けに来てくれた方。電話で何十年ぶりに声を聞く方も多くあり、懐かしいやら驚くやら、中には「電話が全然通じなかった」と叱られるやら。この度のことでは、その地域で出会った方々の心の優しさに深く感謝の想いをしております。

さて、東北は復興元年です。全国から様々なかたちで励ましや応援を頂いております。これは言うまでもなく、全国の皆様から「東北がんばれ、復興がんばれ、早く復興を！！」の心強いエールです。私たちは、引き続きこのエールに粘り強く全力で応えていかななくてはなりません。そしてわれわれ道建協こそ、この復興に大きく貢献できる団体です。私はこの度、広報委員長を仰せ付けりましたが、今後は皆様の復興に向けてのご尽力とご活躍をより多く伝えて行くことが出来ように務めてまいります、何卒ご協力の程宜しく申し上げます。

## 『最高の選手宣誓』

東北支店営業部 五十嵐 裕治

支部会員の皆様には、日頃よりご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度も宜しくお願い致します。

震災から一年。第84回選抜高校野球大会は、大阪桐蔭高校の優勝で幕を閉じました。またしても、東北に優勝旗は渡って来ませんでした。光星学院の準優勝をはじめ、東北勢の頑張りに拍手を贈りたいと思います。

私もかつて甲子園を目指し、野球に明け暮れていた時代があります。“あと一つ”で甲子園には届きませんでした。野球人生で最も充実していたのが高校時代でした。

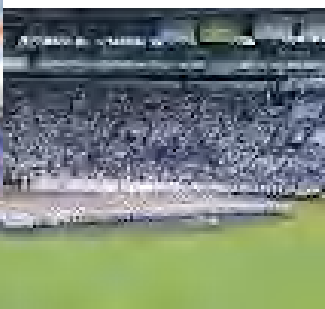
高校球児だった私が、今大会最も感動し、印象深かったことは、プレーではなく石巻工業・阿部主将の本当に素晴らしい選手宣誓でした。リアルタイムで開会式を観ることはできませんでしたが、ニュースを“聴いた”時、熱いものが込み上げてきました。

皆様もニュース等で聞かれたと思いますが、文字にして読んだことはありますか？

改めて素晴らしい選手宣誓だったと実感できます。



(←スポニチ HP 引用)



### 【選手宣誓】

東日本大震災から一年、日本は復興の真つ最中です。

被災された方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。

人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。

しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。

だからこそ、日本中に届けましょう。「感動」「勇気」そして「笑顔」を。

見せましょう。日本の底力、絆を。

我々、高校球児ができること、それは全力で戦い抜き、最後まで諦めないことです。

今、野球ができることに感謝し、全身全霊で正々堂々プレーすることを誓います。

『最高の選手宣誓』でした。

さすがうちの秋山次長の後輩です。

(^\_^;) )

復興のため、多忙な日々が続いていると思います。

病気、事故などないよう、皆様お身体にご自愛下さい。

『見せましょう。建設業の底力を』

『魅せましょう。最高の技術で、

再生した美しい東北を』

## 編集後記

道建協とうほく No. 48 担当

三 澤 健太郎（世紀東急工業(株) 東北支店）

竹 内 康 高（(株)ガイアートT・K 東北支店）

平成24年度最初の広報誌発刊に際し、大変お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆さま、ご協力誠にありがとうございました。

震災から一年以上が経過し、『ふるさと』の復興のために会員各社今まさに全力で取り組んでいることと思われまます。その成果もあって徐々にではありますが、街にも活気が戻りつつあります。

しかしながらあの時からまだ時間が止まったままの地域もあります。現在、私が生まれ育った町で人の姿をみかけることはありません。しかしいつの日か『ふるさと』が復興することを信じています。幸いにして私たちはそれに直接関われる仕事です。

会員全員が『ふるさと』の復興に携われることに対し喜びと責任を強く噛み締めながら、また今年度も精一杯がんばっていきましょうではありませんか。



現在の大野駅（大熊町）



現在の富岡駅

